

「天国に行きたい人への 良い知らせ」

マタイの福音書4章17節

1

この時からイエスは宣教を開始し、「悔い改めなさい。天の御国が近づいたから」と言われた。 マタイ 4:17

2

天の国 = 神の国 = 天国

- この時からイエスは宣教を開始し、「悔い改めなさい。天の御国が近づいたから」と言われた。 マタイ 4:17
- ヨハネが捕らえられた後、イエスはガリラヤに行き、神の福音を宣べ伝えて言われた。「時が満ち、神の国が近づいた。悔い改めて福音を信じなさい。」 マルコ1:14-15
- 神(王)の前にひざまずく。降伏する。心の王座を神に、まことの王に明け渡す。

3

神(天)の国が来る予告

- 神の国が来るという予告
- この王たちの時代に、天の神は一つの国を起こされま~~す~~。その国は永遠に滅ぼされることがなくその国は他の民に渡されず、かえってこれらの国々をことごとく打ち砕いて、絶滅してしまいますしかし、この国は永遠に立ち続けます。あなたがご覧になったとおり、一つの石が人手によらずに山から切り出され、その石が鉄と青銅と粘土と銀と金を打ち砕いたのは、大いなる神が、これから後に起こることを王に知らされたのです。その夢は正夢で、その解き明かしも確かです。
ダニエル2:44-45

4

天の国、神の国が来た

- 第四の王国(ローマ)の時代に「人手によらずに」一つの国を建てる。あらゆる国々を征服し永遠に立ち続ける。神の国であり、神の教会
- わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てます **ハデスの門(死)もそれには打ち勝てません。**
マタイ16:18
- あなたがたは使徒と預言者という土台の上に建てられており、**キリスト・イエスご自身がその礎石です。**
エペソ2:20
- 教会の土台はイエス・キリストご自身。これ以上確かな土台はない。(キリストイエスを基として、、、♪)

5

聖歌201 キリストイエスをもといとして

- 1 キリスト・イエスをもといとして
うちたてられし みきょうかいは
きみが血をもて 買ったまいし
はなよめたちの あつまりなり
- 2 ことばにいろに ちがいあれど
みたまのおがむ 主ひとりなり
ひとつに生まれ ひとつにのび(伸び、成長する)
ひとつにしょくし ひとつに生く

6

天の国、神の国が来た

- 御父は、私たちが暗闇の力から救い出して、愛する御子のご支配(国)の中に移してくださいました。 コロサイ1:13
- あなたがたは、選ばれた種族、王である祭司聖なる国民、神の所有とされた民です。それは、あなたがたを、やみの中から、ご自分の驚くべき光の中に招いてくださった方のすばらしいみわざを、あなたがたが宣べ伝えるためなのです。 1ペテロ2:9

7

来てくれた天国を受け入れた？

- 悔い改めなさい。天の御国が近づいたから。 マタイ4:17
- 天国に入れるから大丈夫=ポピュラーな福音？
- 自分は天国に入れるか？ではなく、天国(その国の王)が 自分の中に、心、生活の中に入っているか(治めているか)？
- 神の無条件の愛に、無条件降伏する。

8

天国(の王)を追い出した教会

- (ラオデキアの教会へ)わたしは愛する者をみな、叱ったり懲らしめたりする。だから熱心になって悔い改めなさい。見よ、わたし(イエス・キリスト)は戸の外に立ってたたいている。だれでも、わたしの声を聞いて戸を開けるなら、わたしはその人のところに入って彼とともに食事をし、彼もわたしとともに食事をする。 黙示3:19-20

9

毎週日曜日がイースター

- キリスト(王)は死を滅ぼし、福音によって命と不滅を明らかに示されました。 2テモテ1:10
- それを信じてバプテスマを受け、主の晩餐をいただく。
- 毎週日曜日の礼拝がイースター、復活祭！
- その王に聞き従って生きるのが神の国=天の国=天国の生き方。
- 御国が来ますようにという祈り
- 神の国とその義をまず第一に求めよという教え

10

自国(自分の国)を天国化する

- 問題(罪)=神の国を、天の国を自分たちの国にしてしまった。天国の自国化
- 地獄(の沙汰)も金次第。天国も自分次第？
- 「一国一城の主」から天国の王の家来へ。
- 王が神の国、天国の門を開いて下さった。王と一緒に、自国(自分たちの国)を天国化する
- 天国行きの前に天国生き！

11

神の国と神の義を

神の国と神の義をまず求めなさい。
そうすればみな与えられる
ハーレー、ハレルーヤ

12